

キャラクター名  プレイヤー名

メインクラス	ナイト	Lv.1:	ウォーリア	レベル	12
サポートクラス	サムライ	Lv.1:	チューシ	性別	男
称号クラス				年齢	22
種族	ドラゴネット			境遇	災害
出自 (効果)	隠れ里			目標	恩返し

	筋力	器用	敏捷	知力	感知	精神	幸運
基本値	27	21	9	8	6	21	9
ボーナス	9	7	3	2	2	7	3
クラス修正	3	2	1	0	0	2	0
他修正	1						
能力値	13	9	4	2	2	9	3

HP	137
MP	90
フェイト	5

装備品		射程	命中	攻撃	回避	物防	魔防	行動	移動
右手	ダイヤランス	至近	-1	20	0	0	0	-2	0
左手	S1猟王の盾(対抗:スリッパ)					12	2	-1	
頭部	S1ラウールの兜(筋力)				-1	3	0		
胴部	猟王の鎧				-1	10	1		-2
補助	猟王の外套				-1	4	1		-2
装身具	豪傑の証		1			5			
能力値			9	0	4	0	9	6	18
スキル	サバイバルスタイル起動時					17	28		
その他			1	1	1	3	2		56
総計(右)			10	21					
総計(左)			11	1	2	54	43	3	70
総計(両)									m
ダイス数			4 d	7 d	5 d				

	能力値	スキル	その他	合計	ダイス数
トラップ探知	2			2	+ 2 d
トラップ解除	9			9	+ 2 d
危険感知	2			2	+ 2 d
エネミー識別	2			2	+ 2 d
アイテム鑑定	2			2	+ 2 d
魔術判定	2			2	+ d
呪歌判定					+ d
錬金術判定					+ d

所持品	
クリスタル:対抗:スリッパ	
クリスタル:筋力	ポーションホルダー
	▼ハイHPポーション*2
ベルトポーチ	▼MPポーション*3→2
バックパック	ハイMPポーション*1
小道具入れ	
▼戦士の輪	ランチボックス
▼リムブースト・メタル	▼野菜*5
▼ロープ	
▼神馬の鞍	転移の呪符
キャップライト	理力符:光・火・水・風・地

現在重量: 20  
 最大重量: 34  
 所持金: 76  
 預金・借金:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ドラゴンフォーム	★	-	パッシブ	-	自身	-		
効果:	【物理防御力】と【魔法防御力】に+2							
カバーリング	1	2	DR直前	至近	自身	自動成功	防御中1回	
効果:	対象にカバーを行う							
カバームーブ	3	4	《カバーリング》		自身	自動成功	SL/シーン	
効果:	《カバーリング》の射程を20mに変更							
ボルテクスアタック	1		攻撃と同時に		自身	自動成功	1/シナリオ	
効果:	武器攻撃のダメージ+[CL*10]							
	★							
効果:								
ハンターウェポン	1		アイテム					
効果:	装備品、携帯品からSL個の武器に種別; 狩猟を追加し重量+2、攻撃力+3、行動値-1							
サバイバルスタイル	1	10	セットアップ		自身	自動成功	狩猟装備	
効果:	【物理防御力】【魔法防御力】+【筋力】、武器を使用した命中-1D、マイナーで解除を宣言するかシーン持続							
アームズマスタリー: 狩猟	1		パッシブ		自身			
効果:	狩猟を使用した命中+1D							
	★							
効果:								
ソニックブーム	2	4	メジャー	20m	単体	命中		
効果:	白兵攻撃。射程SL*10m							
	★				自身			
効果:								
バタフライダンス	1		パッシブ		自身			
効果:	回避判定+1D							
フェイント	1		マイナー		自身	自動成功	4	
効果:	武器攻撃へのリアクション-1D							
	★							
効果:								
ドクターシェフ	2		効果参照		自身	自動成功	SL/シーン	
効果:	HP、MP回復を行なうスキル、パワー、アイテムを同時。CL以下の料理を1個消費し、効果に+[消費したアイテムのレベル*4]							

CL1 カバーリング、カバームーブ2、ドクターシェフ2

“白の国”へヴンズフリードの辺境の谷——“グリーンバレー”と呼ばれている——に住むドラゴネットの一族の子。国柄ドラゴネットの扱いは非常に悪く、人里とは最低限の交流しかないが、元々頑強な種族である彼らは長きにわたりにそこに住んでいた。

しかし、その里が大災害に見舞われる。甚大な被害に見舞われる中、かけつけたのは教皇ミシュナリア11世が率いる銀盾騎士団だった。

セイラスはその雄姿と、何より教皇の慈悲深く気高い姿(主観)に感銘を受ける。復興が一段落すると、一念発起し騎士団に入団すべく皇都イゼルへ向かうのだった。ちなみに災害時の怪我で左腕を大きく負傷して機械で補強しているが、些事である。

皇都で教皇の素晴らしい話を聞いていたら、自分の方が詳しいと割り込んで来た(詳しくはない)青年ベリルと共に、入団試験を受験(ベリルは2回目だったらしい)。そして一緒に落ちた。浪人中に皇都で修行していたら、出会った妖精のガーネットの境遇を聞き、教皇の御膝元ならば解決するだろうと巻き込み(根拠はない)、3人そろって騎士団入りを果たす。

血統主義の根深い騎士団では、ドラゴネットのセイラスも農村出身のベリルもつまはじき者にされていたが、教皇様のためなら何のその。厳しい訓練と実践を生き抜き、実力を高めていった。何よりベリル(セイラス)には負けられない!とぶつかあうのはもはや日常風景。気が付けば入団して3年の時が経ちフォルガー卿の部下として名を馳せるに至っていた。

